

2010 春号

ぷらう 42号



発行: TEACCH プログラム研究会

<会長のつぶやき>

TEACCHで起きていること

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

改めて言うまでもないことですが、私たち TEACCH プログラム研究会の会員は TEACCH 部から多くのことを学んできました。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますがその TEACCH 部で最近大きな変化が起きたことを私たちも知っておいたほうが良いでしょう。

大きな変化の流れのなかで2月にメジボフ先生がディレクターを辞職されました。現在は一時的に別の方(法律家の方だそうで、自閉症の専門家ではないそうです)がディレクターをされています。メジボフ先生がお辞めになった理由について本当のところは良くわかりません。

メジボフ先生が責任者をお辞めになっても、今までの TEACCH と同じように、ノースカロライナ、日本、そして世界中の自閉症スペクトラムの人と家族、そして支援者にために役立つ組織であって欲しいと思います。そして、メジボフ先生がディレクターに復帰することを願っていますが、仮にそれが難しくても、今まで TEACCH 部がどれだけ世界中の自閉症スペクトラムの人たちとその家族に貢献し、どれだけ支援者たちの道しるべになってきたかを TEACCH に直接関係していないノースカロライナ大学の執行部の皆さんに理解してもらうことが大切だと思います。そして、故ショプラー先生とその仲間たちが築かれた TEACCH が今後もショプラー先生のご遺志を正しく伝えていくこと、メジボフ先生や現在の地域センターのディレクターの意向が正しく反映されていくことを強くノースカロライナ大学に要望していきたいと思えます。

すでに世界中の多くの方がそのような要望をノースカロライナ大学に対してされているそうです。内山としては個人としても専門家の一員としても、そしてもちろん TEACCH プログラム研究会の会員としても、何らかの行動をとりたいと考えています。言葉の違う遠い日本からできることは限られているかもしれませんが、まずノースカロライナ大学のしかるべき人たちに手紙を書くことから始めようと思えます。そのような行動をとることについて事前にメジボフ先生にご相談し、ご承諾を得ました。

皆さんの中でもそのような手紙を書きたいというご希望の方がいらしたら、誰にあてて書かなどの具体的な手段についてはお伝えできますので内山(uchiyama.tokio@gmail.com)までメールを下さい。



また、会いましょう！を合言葉に…

～TEACCH コラボレーションセミナー2010 を終えて～

京都支部 野畑 光代

TEACCH コラボレーションセミナー2010 が無事に終了しました。日本各地から参加していただいたみなさんに心からお礼、申し上げます。

思い返せば、2年前は濃霧で講師の J・ドカティー先生の乗る予定の飛行機が飛ばなかったり、やっと来てもらえた…と喜んでいたら、荷物がでてこなかったり…とハプニングが続きました。なので、今回、会長から「今、着いたから…」と、バーガディン先生到着の連絡を受けた時、本当にホッとしたものです。…が、翌日、再び、会長から連絡。今度は「新幹線が動かない！」幸い、新幹線は3～4 時間後に運転を再開しましたが、東京や横浜から参加された方には大変な思いをされた方もおられると思います。ホント、お疲れさまでした。

こんなハプニングもありましたが、セミナーは前回は上回る参加者、充実した内容でおいに盛り上がり、大成功でした。この大成功の裏にはセミナーを支えてくれた京都・滋賀の仲間たちの存在があります。事前の準備からセミナー期間中、仲間たちの笑顔が輝いていました。

1 回目同様、今回もハラハラ・ドキドキしたのですが、なんとか、うまくクリアし、最後はきっちり『HAPPY END』で締めくくることができ、めでたし、めでたし…です。私自身は、今回、1 週間前くらいから胃がキリキリ痛みました。前回の方がはるかに大変だったのになぜでしょう??? でも、こんな調子ならセミナーを続けるとダイエットになるかも?! なんて思ったりしています。

それではみなさん、また、会いましょうね!! コラボレーションセミナーで…。

2010TEACCH コラボレーションセミナー印象記

大分支部 井伊暢美

2010 年 1 月 30 日・31 日に春寒の京都で、コラボレーションセミナーが開催されました。大分支部は 2009 年 7 月に設立され、私は初めての参加となりました。会場は全国から集まってこられた方々の熱気にあふれていました。

1 日目は、ノースカロライナ大学教授でラーレイ TEACCH センター所長のマリー・バーガディン先生の講演でした。成人期の充実した生活を送るために、自閉症の人が身につけておくべき 10 のことごとと、自閉症の人の役に立つために、支援者が習得しておくべき 10 のことごとらについて、分かりやすく、すぐに実践できるような内容をご講義頂き、学ぶことができました。講演で特に印象に残っているのは、バーガディン先生の論理的でありながら温かさを感じる人柄はもちろんですが、ある自閉症の子供が、セラピストの難しい課題での支援や、傾聴に思いやりを感じて、その「セラピスト大好き!」と言ったという話です。支援する際の大切な姿勢を確認することができました。2 日目の実践報告では、様々な取り組みについて知ることができました。ようやく支援の緒についた私は大変よい学びを得たと同時に、励まされました。今回のセミナーを通して、私たちは、自閉症の方の今現在の姿を正しくとらえ、どの方向に向かっていくのかを理解し、支援していく必要があることを感じました。幼少期から成人期の自立を目指し、そして豊かな老いを迎えるための支援をしていきたいと強く思い、今回のセミナーに参加することで、今後の方向性を確認することができました。

最後になりますが、今回のコラボレーションセミナーに関わったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

滋賀支部 鎌田 博之

今回初めて参加しました。全国から支援者や保護者の皆さんが集まり、本当に充実した時間でしたね。

初日は、マリー・バーガディン先生の二つの講演を聴きました。最初に『成人期に充実した生活をおくるために』と題し、～自閉症の人が身につけておくべき10のことがら～を学びました。これは、支援者側に対しアンケート調査したもので、ランキング形式まとめられたものでした。特に上位5つの項目は「高機能」の方も「古典的自閉症(知的障害を伴う自閉症)」の方も、「身につける」という意味においては同じということでした。特に3位に衛生面の重要性(清潔さを身につける。「汚い」事が分からない人たちへのスキル。)が入っていたのが驚きでした。でも、健康面を考えると納得ですね。

これらはすべて、地域社会で可能な限り自立した生活を目指すために、「強み」や「興味」、視覚的明確化を活用してゆく事が大切であり、それらは常に柔軟であること。と、お話しされていました。

午後からは、『自閉症の人の役に立つために』と題し、～支援者が習得しておくべき10のことがら～を学びました。これは、成人の自閉症本人とその保護者に対しアンケート調査したもので、私自身、保護者としても大変興味深いものでした。本人には、「役立った事」や「成人になる準備としてどんな事を学ばれたか?」、保護者には、「大人になって行くのに何を知っていたら良かったか?」や「支援者側からの取組みで役に立った事は?」という質問に対するランキング形式の報告でした。特に親の視点(家族間のストレスの問題や、家族(特に兄弟)への影響。セルフケア。罪悪感との付き合い方。)には共感しました。

この他、会場のお悩み相談もあり、その的確なバーガディン先生のご指導には本当に驚きました。中でも「TEACCH」と「応用行動分析」についてのルーツの違いやアプローチの違い、動機付けなどの解説がとても印象的でした。お話を聞き、どんな支援や指導にも柔軟性が大切なんだと感じました。

2日目は国内での「実践報告」と「ディスカッション」があり4組の方々の発表がありました。コーディネーターとして、内山先生、諏訪先生の進行で進められる中、バーガディン先生もコメントーターとして参加くださってました。

皆さんの発表を伺い改めて感じた事は、TEACCHプログラムというのは、表面上は「構造化」や「視覚支援」が良く目につきますが、実は自立生活を目指し、揺るがない概念と、いろんな思考や実践があつてのことだと、今回の参加で再認識しました。TEACCHは概念が大切であり、カードなどでの視覚支援も物理的構造化も、すべてこの概念＝「本人を理解する」ことがとても大切だと、最後にバーガディン先生もおっしゃってました。

この充実したセミナーが私たちにしっかりと吸収できるのも、通訳の重松さんのおかげですね。専門的な知識・見解も深くて本当にスゴイ方です。ただ単に通訳されているのではなく、微妙な言い回し(あるいはニュアンス)すら、私たちに伝えて下さいました。改めて感謝したいですね。

TEACCHは本当に奥が深いです。そして時系列的にも日々研究が進んでいるんですね。まだまだ勉強ですね・・・2年後のコラボレーションセミナーがとても楽しみです。

TEACCHコラボレーションセミナーに初めて参加して

滋賀支部 石井 弘枝

「TEACCHコラボレーションセミナー」に参加してから、1ヶ月がたとうとしています。セミナーでの感動は、何より、私のエネルギーになっています。

マリー・バーガディン先生の講演、「成人期に充実した生活をおくるために — 自閉症の人が身につけ

ておくべき10のことがら 一」と、「自閉症の人の役に立つために 一 支援者が習得しておくべき10のことがら 一」は、私が、教師として、何をしたらよいのかを、わかりやすく教えていただきました。いろいろな本や講演会で学んできたことが、整理されました。でも、そのことがらの一つ一つを確認すると、自分が自閉症支援を行う上で、勉強不足のところがたくさんわかりました。自分に足りないところを、これからもっと学んでいきたいと思えます。また、これは、自閉症の方だけでなく、全ての成人に必要なこととも共通するということも確認できました。この「10のことがら」を、自分のリマインダーとして、これから定期的に読み返していきたいと思えます。

二日目は、卒業後の様々な場所での具体的な実践報告、それに関するいろいろな立場の方のディスカッション、先生方のコメントなど、とても勉強になりました。具体的な事例が前日の「10のことがら」の大切さを裏付けていました。それから、一番はっとしたのは、「学校での支援は、先生によりけり。ある先生の時はよいが、先生が代わると続かない。個別の教育支援計画はあるけど、形式的。もっと、その子に合った支援がつながる必要がある。」というような、ディスカッションを聞いたときです。セミナーを通して、「学校生活より卒業後の生活が長い。そこで、生き生きと過ごすためには、学校は、幼・小・中・高つながって、将来役に立つことを身につける場であるべき。」ということ学びました。そのためには、学校の中でも、個人でがんばるだけではだめで、みんなで学びあってコラボレーションしていかなければ・・・と、学校現場での課題にも気づかされ、はずかしくも思いました。

内山先生の開会の挨拶にあった「コラボレーションセミナーは、当事者、専門家、親、福祉機関、教師が互いに学びあう場だ」ということが、よくわかった二日間でした。

平成22年度 第1回理事会報告書

平成22年度第1回理事会は、1月29日(金)18:30~20:30 ハートピア京都にて行われました。当日の午後JRの事故が発生し、新幹線が一時ストップするというハプニングが起こる中、何時間も立ち続けてかっつけてくださった内山先生をはじめ、関東圏から来られた理事の皆様、どうもお疲れ様でした。

参加理事:内山、村松、檜原、辻、中井、谷中、北山、藤井、丸田、大西、竹内、草原、
内田、進藤、三ヶ田、岡本、井上、濱田(事務局会計)、南前(旧事務局会計)

この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

- 議案1. 山梨支部立ち上げについて
16番目の支部として、山梨支部の立ち上げが承認された。
- 議案2. 平成22年度理事および役割の確認
山梨支部を含め、5支部の理事が新理事となった。
事務局が鳥取支部から大阪支部へ交代となった。
- 議案3. 平成21年度活動報告
- 議案4. 平成22年度活動計画
- 議案5. 平成21年度会計報告、特別会計報告
- 議案6. 平成22年度予算案
- 議案7. 平成21年度各支部事業報告について
- 議案8. 香川トレーニングセミナーの準備状況:草原理事より



2010. 8. 6～8、香川県社会福祉総合センターにて開催予定。

進捗状況の報告。実施計画案、募集要項について確認・承認された。

議案9. 愛知実践研究大会計画案：北山理事より

「地域に根づく支援(仮)」というテーマにそって全体構成を考案中との報告。基調講演は藤岡宏先生に依頼予定。実施場所は名古屋市内で、実施時期は、2011年の1月末から2月前半で調整することに決まった。

議案10. ぷらう42号(2010年春号)に掲載する内容、分担が決められた。

議案11. その他

1. 平成22年度総会議案書(案)を提案し、承認された。
2. 土倉事務所による会費振り込み、会員名簿の管理について説明・確認。
3. 平成21年度各支部活動報告および会計報告。
4. コラボレーションセミナーの冊子は、参加しなかった会員すべてに郵送する旨、確認。
5. 理事会に支部理事が欠席する場合は、理事の代理が出席する旨、確認。
6. 理事MLについて、説明・確認。
7. 次回、平成22年度第2回理事会は、7月10日(土)、京都(会場未定)にて午後1:30より開催されることとなった。

平成22年度総会報告

平成22年1月30日(土)16:30より、京都染織会館 シルクホールにて平成22年度の総会を行いました。

総会では、新支部と新理事、役員承認および以下の4点について会員の皆様の承認をいただきました。

- * 新支部の紹介・・・大分支部 山梨支部
- * 平成22年度理事及び役割(☆・・・新理事)

支部	役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
北海道		檜原 永都子
東京		黒田 美保
神奈川		辻 裕二
山梨		☆ 中井 百合子
石川		谷中 美雪
愛知		北山 達成
滋賀		藤井 依子
京都	講師招聘事業	☆ 丸田 富美代
大阪	事務局	☆ 井上 芳子
兵庫	HP	大西 俊介

鳥取		竹内 美智子
香川		草原 比呂志
福岡		内田 博昭
佐賀		進藤 久見子
大分		☆ 三ヶ田 智弘
熊本	広報	☆ 岡本 美由紀

*平成22年度の会計監査担当は、引き続き水野敦之氏(佐賀支部)にお願いすることになりました。もう1名の方は、現在依頼中です。

*会計監査担当として本会のためにご尽力いただいた小田浩三氏(熊本支部)は平成21年度をもって退任されることになりました。

議案1:平成21年度活動報告

2月14日(土) 平成21年度第1回理事会(熊本)
 2月14日(土)~15日(日) 第9回実践研究大会(熊本)
 2月15日(土) 平成21年度総会
 機関誌『ぷらう』40号(春) 発行
 7月 4 日(土) 平成21年度第2回理事会(京都)
 機関誌『ぷらう』41号(秋) 発行

平成21年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
*会計年度 平成21年1月1日~平成21年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥4,056,920
一般会計より	¥1,000,000
利息	¥2,488
合計	¥5,059,408
<支出>	
合計	¥0
<収支>	
収入¥5,059,408-支出¥0=¥5,059,408	
残金¥5,059,408は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成22年1月19日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 南前 素子
平成22年1月25日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 小田浩三
平成22年1月26日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野敦之

議案2:平成22年度活動計画

1月29日(金) 平成22年度第1回理事会(京都)
 1月30日(土)~31日(日) コラボレーションセミナー2010(京都)
 1月30日(土) 平成22年度総会
 機関誌『ぷらう』42号(春)発行
 7月10日(土) 平成22年度第2回理事会
 8月6日(金)~8日(日)
 トレーニングセミナー(香川)
 機関誌『ぷらう』43号(秋)発行
 * 上記以外、必要に応じて総務委員会を数回、開催する予定。

平成21年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
*会計年度 平成21年1月1日~平成21年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥4,056,920
一般会計より	¥1,000,000
利息	¥2,488
合計	¥5,059,408
<支出>	
合計	¥0
<収支>	
収入¥5,059,408-支出¥0=¥5,059,408	
残金¥5,059,408は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成22年1月19日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 南前 素子
平成22年1月25日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 小田浩三
平成22年1月26日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野敦之

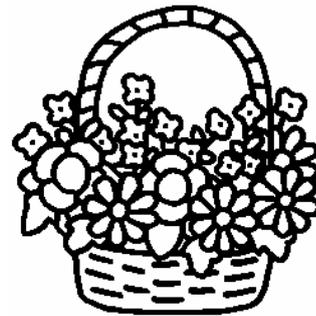
議案3:平成21年度会計報告

参照:平成21年度会計報告
 平成21年度特別会計積立金 会計報告

議案4:平成22年度予算案

参照:平成22年度予算案

平成22年度から、事務局が大阪支部に変わりました。
どうぞよろしくお願いいたします。



実践研究大会 in あいちのお知らせ

日時 2011年2月26(土)~27(日)

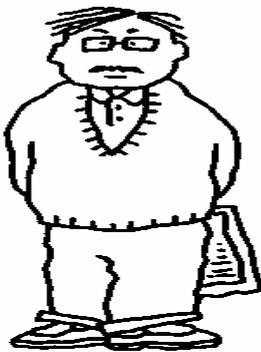
場所 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)名古屋駅前

テーマ「地域に根ざす支援」

基調講演 藤岡宏先生(児童精神科医・つばさ発達クリニック院長)

詳細はこれから詰めていきますが、後ほど分科会での発表を募集します。

(次回のぷらう43秋号にて)



<HP 管理からのお知らせ>

ぷらう42春号以降のパスワードは...

JH3QMD

...です。

変更よろしくお願いいたします。

各支部活動計画

<北海道支部>

運営会議

場所:北海道発達障害者支援センターあおいそら/北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成22年度 北海道支部総会	1.19	平成21年度事業報告 決算報告 監査報告 平成22年度事業計画(案) 予算(案)他
第1回運営委員会	2.2	企画研修会について
第2回運営委員会	4.6	企画研修会について
第3回運営委員会	6.1	企画研修会について
第4回運営委員会	9.28	企画研修会について・来年度計画について
第5回運営委員会	10.26	来年度計画について・平成23年度総会について
第6回運営委員会	12.7	来年度計画について・平成23年度総会について

※平成23年度支部総会は H23.1.18(火)北海道教育大学附属特別支援学校にて開催予定

勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.19(火)	ASD当事者との対談DVD鑑賞会	松泉学院 中村 明美 氏
第2回	3.7(日)	講演会「きょうだい支援」	益城病院 田中 恭子 氏
第3回	5月～6月	ミニ学習会「ASDの特性と構造化」 ※会場や時間帯を変えて3回実施 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第4回	未定	札幌市講演会(共催)	未定
第5回	8月～9月	ミニ学習会「TEACCHの歴史と理念」 ※会場や時間帯を変えて3回実施 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第6回	11.上旬	実践報告会 ※オープン参加	未定

会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	2月上旬	平成22年度総会報告、勉強会案内 他
第2報	4月	ぶらう(本部会報)
第3報	4月上旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第4報	7月上旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第5報	10月	ぶらう(本部会報)
第6報	10月上旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第7報	12月上旬	勉強会報告、総会案内 他

<石川支部>

・1月17日(日) 第8回総会

講演会 佐藤暁先生 「発達障害のある子の困り感に寄り添う支援」
場所 石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール

・1月30日(土)～31日(日)TEACCH コラボレーションセミナー2010(於京都)

理事会、TEACCH プログラム研究会研究総会

・3月7日(日)9:30～12:30 第48回例会

場所 金沢市教育プラザ富樫

- ・ 石川県発達障害支援センター 谷中美雪さん
「自閉症児・者のためのノースカロライナ TEACCH プログラム視察研修報告」
- ・小松養護学校 益本尚子さん「今日はぽっぽの日だよ」

・4月25日(日)9:30～12:30 小講演会

場所 金沢市教育プラザ富樫予定

- ・講師 小坂正栄さん 「自閉症児 自律への一歩」

・5月16日(日)9:30～12:30 第49回例会

場所 金沢市教育プラザ富樫予定

- ・事例検討会

・7月予定 講演会

場所 金沢市教育プラザ富樫予定

講師 交渉中



- ・9月 第50回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・実践報告
・事例検討会
- ・10月・・金沢医師会主催講演会
- ・11月 講演会（保護者の立場から・・）
講師（交渉中）角田みすずさん
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・12月 第51回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・事例検討会
・その他



＜東京支部＞

	日程		講師・発表者	テーマ
1	3/28(日) 13:00～ 青山学院大学	定期総会 勉強会 親睦会	スティーブ・クルーパ 内山登紀夫	「TEACCHIにおけるトータルサポートの実際」 「通常級における高機能 ASD の子どもへの支援」
2	4/25(日) 10:00～16:30 ケルンホール	基礎講座 1	諏訪利明	「TEACCH 概要」 「自閉症の特性」 「構造化」
3	5/30(日) 10:00～16:30 青山学院大学	基礎講座 2	黒田美保	「評価」 「コミュニケーション」
5	8/28(土)29(日) 10:00～17:00 場所未定	2Day ワークショップ	黒田美保	「構造化・ワークシステム・自立課題」
6	10 or 11	事例検討会	向井 崇	未定
7	12/ 未定	テーマ別勉強会		未定

- ・ 会場・時間は、都合により変更することもあります。受講申し込みの方には別途ご案内いたします。
- ・ メール、または FAX にて事務局までお申し込みください。
- ・ ワークショップについては、TEACCH プログラム研究会東京支部会員で、基礎講座相当の受講経験がある方が対象となります。要項ご希望の方は事務局までお問い合わせください。



FAX 050-3488-5766
 E-mail teacchtokyo@gmail.com

＜神奈川支部＞

日時	内容	会場
1月30日(土) 31日(日)	TEACCH コラボレーションセミナー2010	京都染織会館 シルクホール
2月17日(水) 18:45～21:00	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 【実践研究会報告】 「自立した生活を目指して ～成人施設と家族との共同した取り組み～」 発表者 原崎 知之(横浜市中山みどり園)	おださがプラザ 多目的ルーム
3月24日(水) 18:45～21:00	【合同】「評価について」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
4月14日(水) 18:45～21:00	【合同】「PEP-R について」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
5月19日(水) 18:45～21:00	【合同】「自立課題の作成」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
6月18日(金) 18:45～21:00 ※曜日が違います。ご注意ください。	【講演会】「T-TAP について」 講師 梅永 雄二(宇都宮大学)	おださがプラザ 多目的ルーム
7月21日(水) 18:45～21:00	【合同】「課題分析」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
9月15日(水) 18:45～21:00	【合同】「構造化～自立的生活に向けての支援～」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
10月20日(水) 18:45～21:00	未定: 当事者の方による講演会を予定しています。	おださがプラザ 多目的ルーム
11月6日(土)	【講演会】演題は未定です。 講師 服巻 智子 (それいゆライフサポートセンター& 教育コンサルタント統括ディレクター)	未定
12月8日(水) 18:45～21:00	【合同】「コミュニケーションサンプル」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム

日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

おださがプラザ:相模原市南区南台3-20-1

小田急相模原駅北口 ラクアルおださが4階

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-269-0067
【e-mail】 Hteacchkanagawa@yahoo.co.jp

<愛知支部>

2010年度活動計画

(1)講演会等

- ※2月20日(土) 1日 「あなたがあなたであるために」
講師 吉田友子先生
会場 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
- 2月20日(土)PM 愛知支部総会 会場 上記
- ※7月19日(祝)1日 応用行動分析(仮題)
講師 服巻繁先生
会場 名古屋市国際会議場 会議室 234

(2)※事例検討会

- 11月 予定 助言者 岡田真子先生
会場 未定

(3)託児

(4)会報発行

(5)TEACCH 研実践研究大会愛知開催準備 2011年2月26日27日開催

(6)その他

- *勉強会開催 *ホームページ *講師派遣

- ※印は愛知県発達障害者支援センター及び名古屋市発達障害者支援センターとの共催予定事業です。
- 講演会・事例検討会・ミニトレーニングセミナーすべて愛知県自閉症協会の後援予定です。

TEACCHプログラム研究会愛知支部世話人

顧問 小野宏
代表 中村真喜子
理事 北山達成
会計 斉藤珠美
世話人

小川真紀 鈴木雅子 鈴木小浪 谷口智恵子
玉井一男 香西正恵 林大輔 前川明男 中村大輔 田中三佳
長谷川陽一郎 奥田将之 水野純子

アシスタント

玉川 大森 後藤 山田 酒井 杉江 小鹿 経塚

<滋賀支部>

例会① 講演会「成人期の生活支援と就労(仮)」

年度の初めに、成人期の自閉症の就労に向けての相談や支援に携わっておられる「滋賀県発達障害者支援センターいぶき」の高松氏に、これまでの経験や考えて来られたこととお話いただきます。

- ◇日 時:4月24日(土) 午後2時00分~4時30分
◇場 所:G-NETしが(男女共同参画センター)

◇講師：滋賀県発達障害者支援センター「いぶき」高松光照氏

★この日は午後4時30分より、滋賀支部年次総会を開催します。

例会② 実践報告「個々の目的に応じた支援～作業所での個別化された実践～」

さわらび作業所では、「大人になれば働きたい」「自分の役割を持ちたい」「楽しみたい」といったそれぞれの想いを果たすために「個々の支援」を実践されています。一月のコラボレーションセミナーで発表いただいた実践を支部例会でも報告していただきます。

◇日時：5月19日(水) 午後7時～9時

◇場所：野洲市中央公民館

◇話題提供：さわらび作業所 塩木崇弘氏 中野純司氏

例会③ 実践報告「保護者の思いと家庭での実践」

滋賀自閉症研究会たんぽぽで活動されているお二人の保護者に、我が子や支援者への思いと家庭での実践をお話しいたします。

◇日時：6月16日(水) 午後7時～9時

◇場所：野洲市中央公民館

◇話題提供：滋賀自閉症研究会「たんぽぽ」保護者

例会④ 7月21日(水) 午後7時～9時 場所：野洲市中央公民館

例会⑤ 9月15日(水) 午後7時～9時 場所：野洲市中央公民館

例会⑥ 10月20日(水) 午後7時～9時 場所：野洲市中央公民館

例会⑦ 11月17日(水) 午後7時～9時 場所：野洲市中央公民館

※例会④～⑦の内容については、現在、世話人会で企画検討中です。詳細が決まり次第、お知らせします。

※12月に施設見学会を予定しています。こちらも詳細が決まり次第、お知らせします。

◇参加費：会員は無料。会員外は1回500円。

◇事前申し込み：不要。単発参加も可能。

◇日程や場所が変更になる場合があります。変更がある場合、前月の例会でお知らせします。前月に出席されていない場合は、会員には葉書等でお知らせしますが、会員外の方は下記事務局に、お問い合わせ、確認をお願いします。

◇例会時に入会受付もしています。入会金1,000円、年会費4,000円、事務手数料100円。途中で入会された場合、それまでの参加費はお返します。

<問い合わせ先> TEACCHプログラム研究会 滋賀支部事務局 磯山ひろみ

FAX 077-566-4925 E-mail fwpd2756@nifty.com

<京都支部>

1月30日(土) 31日(日)	コラボレーションセミナー	京都染織会館 シルクホール
3月 6日(土) 13:30～16:30	講演会 『障がい児拠点だからできる連携システムづくり～すずかけクラブの実践～』 知的障がい児専門児童クラブ	ハートピア 京都

	「すずかけクラブ」 笠合 竜明 氏	
5月15日(土) 13:30~16:30	例会 『クラスでのコミュニケーション指導』 南山城養護学校 北畑 暢子 氏	京都社会福祉会館
7月10日(土) 13:30~16:30	例会 『通所施設における支援』 宇治川福祉の園 山本 義人 氏	京都社会福祉会館
9月18日(土) 13:30~16:30	例会 『家庭における取り組み ～Sくん 17年の歩み～』 保護者 上野 亜希子 氏	京都社会福祉会館
11月20日(土) 13:30~16:30	例会 『育成学級(特別支援学級) における実践』 京都市吉祥院小学校 松尾 博史 氏	京都社会福祉会館

TEACCHプログラム研究会 京都支部
事務局メールアドレス:teacch_kyoto@yahoo.co.jp

<大阪支部>

月日 (曜日) 時間	支部主催の事業・内容・講師	会場	会報の発行	総会など
3月		大阪市内		運営委員会
4月			いまあじゆ 発行	
5月29日 14:00 (土) ~ 16:30	講演「自閉症の特性と支援 (仮題)」 講師 田中 浩一郎 氏 (京都市児童福祉センター)	堺市総合福祉会館		講演終了 後、総会 運営委員会
6月26日 14:00 (土) ~ 16:30	勉強会 「自閉症のひとたちを知るため に ～評価から支援へ Part 1～」	堺市総合福祉会館		
7月17日 14:00 (土) ~ 16:30	勉強会 「自閉症のひとたちを知るため に ～評価から支援へ Part 2～」	堺市総合福祉会館		運営委員会
9月25日 14:00 (土) ~ 16:30	勉強会 「自閉症のひとたちを 知るために ～評価から支援へ Part 3～」	堺市総合福祉会館		

10月23日 14:00 (土) ~ 16:30	講演「ソーシャル・スキルの 評価と指導(仮題)」 講師 米田 和子 氏 (プール学院大学)	堺市市民会館	いまあじゅ発 行予定	運営委員会
11月27日 14:00 (土) ~ 16:30	公開講座 「発達障がい者支援センターに かかわる新しい制度・動き」 講師 新澤伸子 氏 (アクトおおさか) 他	クレオ大阪南		運営委員会

★ 9月以降の日程は未確定です(変更の可能性あり)。

★ 月例会 参加費 大阪支部会員 500円 他支部会員 1000円 非会員 1500円

< 兵庫支部 >

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催、後援事業・内容・講師	会報の発行	総会、世話人会など
1月						
2月						
3月	27日		例会(年度計画の確認等) 於:エコミール加美			総会
4月						
5月	22日		例会・学習会 於:エコミール加美			
6月						
7月	24日		例会・学習会 事例検討会 於:エコミール加美			
8月						
9月	25日		例会・学習会 事例検討会 於:エコミール加美			
10月						
11月	27日		講演会(講師未定) 於:明石市民会館			
12月						

＜鳥取支部＞

毎月第4木曜日 時間 19:00～20:30
 場所 境港市児童発達相談センター 陽なた
 (★印は第4木曜日以外となります)

1月28日(木)	新年度計画
2月25日(木)	フリートーク
3月25日(木)	コミュニケーションについて
4月22日(木)	サポートブック作成 基礎編
5月27日(木)	ボランティア 実習編
6月24日(木)	井上先生をかこんで ミニ講演会 ①
7月22日(木)	ミニ実践研修会 基礎編①
8月26日(木)	ミニ実践研修会 基礎編②
★ 9月30日(木)	視覚的支援について 一事例検討一
10月28日(木)	視覚的支援について 一事例検討一
11月25日(木)	井上先生をかこんで ミニ講演会 ②
★12月22日(水)	反省会・忘年会

平成22年5月 鳥取県中部にて講演会開催 テーマ: 就労支援について

＜香川支部＞

月 日	学 習 内 容	講 師
2月21日	平成22年度新規会員総会 「自閉症の人たちの暮らしを考える ～WANTSの実現を支援する取り 組み」	香川大学教育学部附属特別支援 学校 西村 健一氏
3月20日	☆トレセミ開催記念 公開講演会 「こんなときどうする?発達障害のある子への支援 ～アスペルガー症候群(高機能自閉症)・ADH Dを中心に」	よこはま発達クリニック 内山登紀夫氏

4月18日	座談会:「自閉症の支援～お悩み相談室」	
5月16日	「よくわかる！自閉症の特性理解と “実践的”支援方法」	香川県立高松養護学校 西村 健一氏
6月20日	「サポートブック再考～サポートブックはなぜ必要か？」	NPO 法人ふぁみりいNOTE 丸岡 玲子氏
8月 6日 ～ 8日	第16回 自閉症療育者のためのトレーニングセミナー in 香川 ※公開講座5講座予定(仮題) 「自閉症の特性」「構造化された支援」 「コミュニケーション」「家事生活スキルの支援」 「行動マネジメント」	トレーナーおよび講師 ・諏訪 利明氏 ・新澤 伸子氏 ・交渉中 ・交渉中 ・交渉中
9月19日	「旬の話題」(仮)	あじの里地域生活支援センター 草原 比呂志氏
10月17日	「香川トレセミ報告会～トレセミで学んだこと」	トレセミ参加者
11月21日	「自閉症のある子どもへの コミュニケーション指導について」	香川大学教育学部 坂井 聡氏 小島慶子氏
12月21日	自閉症への医療面からのアプローチ(仮)	えないメンタルクリニック 繪内 利啓氏
<p>☆講師・内容などは変更する場合があります。 ☆場所・時間:かがわ総合リハビリテーションセンター・福祉センター 10:00～12:00。 ☆3月公開講演会(13:00～16:00)、8月トレセミは、香川県社会福祉総合センターにて実施。</p>		

＜福岡支部＞

月	活動内容	会場
2月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
3月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告・コラボレーションセミナー報告 報告者:募集 アドバイザー:納富恵子氏(福岡教育大学)予定	西南学院大学
5月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
6月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集 アドバイザー:井上哲雄氏(西南学院大学)予定	西南学院大学
8月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	

9月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集 アドバイザー:緒方よしみ氏(福岡市発達障がい者支援センター) 予定	西南学院大学
11月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	
12月	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:記念講演 講師:未定 ○平成23年度総会	西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集する。
※アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もある。

＝連絡先＝

〒819-0167 福岡市西区今宿1丁目17-8

社会福祉法人 のぞみの里 そよぎ今宿内

TEACCH プログラム研究会 福岡支部事務局 担当(内田)

TEL 092-807-8868

FAX 092-807-8869

E-mail soyogi-pc@voice.ocn.ne.jp

<大分支部>

※予定は変更する可能性があります。来年発行予定の会報で御確認ください。

・1月11日(月・祝):基礎講座1(担当 三ヶ田)

「発達障害児のきょうだい支援、自閉症の豊かな世界を活かす工夫」

場所:大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校 体育館

時間:14~16時 会員無料 非会員 500円

・1月30-31日(土・日):TEACCH 研究会コラボレーションセミナー(in 京都)

・2月28日(日):講演会1(Fayetteville TEACCH Center スティーブ・クルーパ博士)

「自閉症の人たちの理解と支援(仮) ~ノースカロライナ州における

自閉症の人たちの支援(学校、家庭、職場を通じて)~」

・3~6月 お休み

・7月25日(日):講演会2(大分大学 衛藤裕司先生)

「未定」

・8月22日(日):基礎講座2(担当 三ヶ田)

「2010 ミニトレーニングセミナー 構造化を極める!(仮)」



・9月5日(日):講演会 3(川崎医療福祉大学 重松孝治先生)
「未定」

・10月17日(日):実践報告会 1(家庭)
「家庭における構造化の実践(仮題)」

・11月21日(日):実践報告会 2(学校)
「学校における構造化の実践(仮題)」



・12月5日(日):講演会 4(宇都宮大学 梅永雄二先生)
「未定」

※1月30・31日(土・日)の TEACCH 研究会コラボレーションセミナーは各自申し込みください。

<佐賀支部>

月	日	時間	内容	講師	会場	備考
2月	20	9:30~ 11:30	定例学習会 行動の問題について	肥前精神医療センター 中山政弘 氏	アバンセ	支部総会
3月	6	9:30~ 11:30	定例学習会 事例検討会	それいゆ 水野敦之 氏	ほほえみ館	
4月	24	9:30~ 11:30	定例学習会 自閉症の特性	それいゆ 服巻智子 氏	佐賀市文化会館	ぷらう 春号送付
5月	15	9:30~ 11:30	定例学習会 構造化①	金立養護学校 進藤久見子 氏	アバンセ	
6月	19	9:30~ 11:30	定例学習会 構造化②	それいゆ 野間康美 氏	アバンセ	
7月	17	13:30~ 16:30	公開講演会 コミュニケーション	ピラミッド教育コンサル タントオブジャパン 服巻繁 氏	母子福祉センター	
8月	28	9:30~ 11:30	定例学習会 IEP	大和養護学校 瀬尾裕子 氏	未定	
9月	11	9:30~ 11:30	定例学習会 社会性の支援	それいゆ 服巻智子 氏	未定	ぷらう 秋号送付

10月	16	9:30~ 11:30	定例学習会 移行支援	それいゆ 貞包由紀子 氏	未定	代表者会
11月	21		発達障害者支援センター主催講演会の共催		未定	
12月	25~ 26	8:00 ~ 17:00	佐賀支部 トレーニングセミナー	服巻繁 氏 水野敦之 氏	未定	

【問い合わせ先】

佐賀支部代表 金立養護学校 進藤久見子
 TEL・FAX 0952-33-4887
 E-mail kumikomm1023@yahoo.co.jp

< 熊本支部 >

期 日	研修内容・講師		備 考
1月16日(土)	支部総会	総会	会費納入 (~1/30)
	ミニセミ報告会	平成21年11月開催ミニセミ報告会	
2月20日(土)	講演会 会場: 水前寺共済会館	「自閉症の就労支援」 滋賀県発達障がい支援センター 高橋光照 先生共同運輸 山下敏文 社長	*開催会場を ご確認ください。
4月17日(土)	基礎講座Ⅰ	「自閉症の特性と支援 ~もう一つの自閉症支援~」 くまもと発育クリニック 岡田 稔久 先生	*運営委員会は 随時開催予定。 支部会報も発行予定。
6月19日(土)	基礎講座Ⅱ	「構造化」 熊本県こども総合療育センター 橋口美代子 先生	
7月17日(土)	実践講座Ⅰ	「未定」	
9月18日(土)	実践講座Ⅱ	「未定」	
10月16日(土)	実践講座Ⅲ <講演会>	「コミュニケーション」(仮) ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン 服巻 繁 先生	



TEACCH プログラム研究会山梨支部が立ち上がりました

近年、山梨県内でも教育・支援の現場において発達障害の方たちの占める割合が増えつつあります。社会福祉法人 緑の風では、高等部の卒業生たちが事業所を利用されるケースが増えることを想定し、2007年に法人理事長や関係者がノースカロライナ大学 TEACCH 部の視察研修旅行に参加しました。その結果、TEACCH プログラムが自閉症のみならず、障害のある方たちが地域で暮らすための支援方法として大変優れているので、これを日常支援に取り入れようということになりました。翌2008年から、緑の風長坂センターでは TEACCH プログラムを導入するために、月1回のセミナーや講演会を開いてきました。このセミナーは最初から一般公開で行いましたので、県内の学校や施設、療育機関などとの繋がりも出来てきました。セミナー参加者の方々と様々な情報交換をするうちに、当事者の多様なニーズに応え、地域生活を支えるためには、当事者に関わる全ての人たちが共通の理解をもって支援に当たる必要があるということが分かりました。県内でも発達障害について深く学び、それを実践に活かしておられる支援者がおられます。こうした動きを繋げ、発達障害のある人たちに生涯にわたって一貫した質の高い支援が提供できるように、TEACCH プログラム研究会山梨支部を設立しました。

他支部の活動をお手本にしつつ、地道に活動を広げていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。(注)緑の風では障害という字を使用しています。

< 山梨支部 >

運営会議

場所: 社会福祉法人緑の風

件名	日時	内容
第1回運営委員会	2月13日	設立総会について
山梨支部設立総会	3月27日	山梨支部会則の制定、役員選出 平成22年度事業計画(案) 予算(案)他
第2回運営委員会	4月	企画研修会について
第3回運営委員会	6月	企画研修会について
第4回運営委員会	8月	企画研修会について・来年度計画について
第5回運営委員会	10月	来年度計画について・平成23年度総会について
第6回運営委員会	12月	来年度計画について・平成23年度総会について

勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	3月27日 (土)	自閉症によりそう ～すべては正しい理解からはじまる～	川崎医療福祉大学教授 佐々木正美先生
第2回	6月12日 (土)	TEACCH 基礎講座	宇都宮大学教授 梅永雄二先生
第3回	10月9日 (土)	発達障害があるということを告げる時	山梨大学教授 相原正男先生
第4回	5月～12月	ミニ学習会 「自閉症の特性と TEACCH の理念」 ※会場や時間帯を変えて4回実施予定	

第 16 回 自閉症療育者のためのトレーニングセミナー 日程と募集

TEACCHプログラム研究会では、1989年以降トレーニングセミナーを全国各地で開催してまいりました。2010年度、第16回目のセミナーは、香川で開催されます。本セミナーは自閉症の人たちへの治療、教育、福祉に携わっている方を対象に、自閉症への理解を深め、支援技術のさらなる習得を目的としています。過去に多くの方が受講し、知識と技術を身につけ各地でご活躍されています。

トレセミとは、講義と実習から成っています。トレーナー(自閉症療育のスペシャリスト)から自閉症の特性や支援についての講義をしていただきます。そして、実際に自閉症の方(協力者)にご協力いただき、講義などから得た知識を活かして、自立課題やコミュニケーションツールなどを計画・作成・実践・再検討していきます。

自閉症へのさらなる理解と支援技術向上のために奮ってご参加ください。

1 期日 2010年 8月6日(金)~8日(日) 3日間

2 場所 香川県社会福祉総合センター 香川県高松市番町一丁目 10番 35号

3 トレーナーおよび講師

- ・プログラムディレクター・講師 諏訪 利明氏(神奈川海老名市わかば学園園長)(*6日のみ参加)
- ・トレーナー 新澤 伸子氏(梅花女子大学現代人間学部心理学科教授)
- ・トレーナー 交渉中
- ・トレーナー 交渉中
- ・トレーナー 交渉中

4 申し込み資格(以下の3項目を満たす方)

- ・TEACCHプログラム研究会会員

※非会員の方は、入会手続き後お申し込みください。入会については最寄りのTEACCHプログラム研究会各支部へお問い合わせください。

- ・自閉症児・者の治療、教育、福祉に携わる専門職の方
- ・セミナー3日間全日とおしての受講が可能な方

5 受講費 5万円(昼食、懇親会費別途。宿泊は必要に応じて各自)

6 定員 20名(4グループ編成:幼児、小学生、中高生、成人。各5名ずつ)

※申し込み者が定員を超えた場合は、書類にて選考させていただきます。

7 申込期間 2010年5月1日(土) ~ 5月31日(月)※期間内消印有効

8 申込方法 申込書に必要事項を記入し、郵送でお申し込みください。

※FAX・メールでの申込はお受けできません。

申込宛先:〒761-8057 香川県高松市田村町 1098番地 香川県立高松養護学校 藤田 明 宛

9 受講決定通知 2010年6月中旬までに郵送にて通知いたします。

☆問い合わせ先 TEACCHプログラム研究会香川支部事務局 藤田 明(香川県立高松養護学校)

ホームページからのEメールもしくはFAXでお問い合わせください

TEACCHプログラム研究会香川支部ホームページアドレス

http://members.at.infoseek.co.jp/teacch_kagawa/main.htm

FAX:087-866-4916(香川県立高松養護学校)

NO. _____ 月 _____ 日受理

第 16 回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー受講申込書

ふりがな 氏名			性別 男・女
			年 月 日生(才)
ふりがな 住所	〒		
連絡先	TEL		メールアドレス
	FAX		緊急連絡先
勤務先			職 種 仕事内容 (年目)
勤務先所在地	〒	<連絡発送先>	
	TEL FAX	自宅・勤務先 (一方に○をおつけください。)	
<p>トレーニングセミナーの参加経験はありますか？(ある方はどちらのトレーニングセミナーですか？)</p> <p>あり(参加トレセミ名: _____) なし</p> <p>☆自閉症療育にかかわった経験およびトレセミ参加を志望された動機をご記入ください。 (※受講者選考の際の参考にさせていただきます。)</p>			